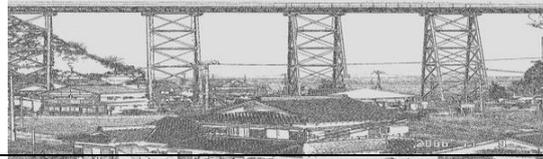


鉄橋

～心の架け橋～



第524号

令和3年10月号の1
香美町立余部小学校

赤とんぼと秋晴れ



早いもので、10月も中旬となり、後期となりました。暑い、暑いと季節外れの気温に戸惑っていた10月上旬でしたが、ようやく秋らしくなってきました。

10、11月には、自然学校・学習発表会・修学旅行など大きな学校行事が目白押しです。自然学校については、10月11日(月)から15日(金)の5日間の実施となりました(次号でお伝えいたします)。また、今月末には「学習発表会」を予定しています(参観範囲につきましては裏面をご覧ください)。運動会もそうでしたが、いろいろな行事を取り組むにあたっては、子どもたちの主体性を大切にしたいと考えています。こうした中、児童会が中心となって「御崎遠足」を実施しました。全校生が楽しめるように考え、リードしました。主体性を持って取り組む上級生の姿が次へつながっていることを、後期児童会役員選挙を見ていて強く感じました。

裏面もご覧ください。

個人情報保護のため掲載を控えます

秋晴れの青空に灯台の白さが際立っています

個人情報保護のため掲載を控えます

個人情報保護のため掲載を控えます

今日のめあてや見どころなどを説明しました。また、諸注意も話しました。

平内神社

灯台から見える「美伊神社」についてクイズを出しているところです。

個人情報保護のため掲載を控えます

御崎

鎧、香住、柴山、竹野・遠くまで見渡すことができました。

灯台から分校まで歩きました。途中、どんぐり、しいの実、あけびなど、秋を見つけました。

分校の運動場でめあてゲームをしました。高得点をめざして、どのチームも楽しみました。

個人情報保護のため掲載を控えます

手作りメダルで表彰しました。

地図は香美町HPより

コラム

10月3日 30.4℃ 4日 31.6℃ 5日 30.9℃
 7日 31.4℃ 8日 30.2℃ 10日 31.5℃(豊岡市)
 10月に入って6日間が30℃を超える真夏日となった。統計を開始して以来の、季節外れの暑さとなっている。

今年のノーベル物理学賞はコンピュータによる気候変動予測の道を開いた真鍋淑郎氏ら3人が受賞した。高性能のコンピュータを駆使し、二酸化炭素などの温室ガスが地球規模の気候変動に与える影響などを予測した研究が評価された。

1968年に渡米し、1967年に高速コンピュータを使って大気の変動と気温の関係を定めるモデルを開発した。

今では、『地球温暖化』ということばを聞かない日がないくらい、いたるところで耳にする。二酸化炭素を出さない取り組みが、全世界で叫ばれるようになってきている。いわゆる脱炭素だ。身近な例で言えば、自動車の電気や水素エンジン化である。

『地球温暖化』は、大型化した台風の多数発生。線状降水帯による大雨。熱波や干ばつ。山火事。農作物への影響。など異常気象を引き起こし、多くの生き物へ影響を及ぼしているといわれている。50年以上前に二酸化炭素による地球温暖化予測をしていたことに驚かされる。「外に出て気候がどうなっているかを肌で感じる。なんにでも好奇心を持つことが肝心だ。」と真鍋氏は言う。仲秋が過ぎても毎日暑いなあと言句を言いがら冷たいものを食す自分は、せめてCO2を出さない工夫を心掛けたいと思う。

学習発表会実施(10月31日)に向けて(お知らせ)

地域の皆さまには、平素より小学校の教育活動にご支援をいただいていますこと、心より感謝申し上げます。

さて、本年度の学習発表会の参観につきましては、体育館という限られた空間ということもあり、新型コロナウイルス感染予防の観点から、下記の方のみのご案内とさせていただきます。何卒、ご理解を賜りたく存じます。



【参観の範囲】

- ① 保護者又はそのご家族(余部地区在住の方)
- ② 絵本の読み聞かせボランティア「ふたば座」
- ③ 登下校ボランティア 「見守り隊」